

(様式第9)

平成 21年10月5日

厚生労働大臣 殿

東京医科歯科大学
学長 大山 喬

東京医科歯科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	115人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	222人	317人	539人	看護業務補助	2人	診療エックス線技師	
歯 科 医 師				理学療法士	7人	臨床検査技師	73人
薬 剤 師	25人	13人	37.4人	作業療法士	3人	臨床衛生検査技師	
保 健 師				視野訓練士	6人	その他	
助 産 師	17人	3人	17.9人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看 護 師	625人	20人	639.9人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	5人
准 看 護 師				栄 養 士		その他の技術員	12人
歯 科 衛 生 士				歯 科 技 工 士		事 務 職 員	85人
管 理 栄 養 士	3人	3人	6人	診療放射線技師	34人	そ の 他 の 職 員	4人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	680.5人		680.5人
1日当たり平均外来患者数	2,166.7人		2,166.7人
1日当たり平均調剤数	(外来) 308.1剤	(入院) 515.6剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘻痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘻痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のも)に限る。))に係るものに限る。)	無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。)	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンツル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。)	無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有	1人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがいなくために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉砕骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。)に係るものに限る。)	有	25人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
歯科用CAD-CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	181人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	226人
・多発性硬化症	95人	・ウェゲナー肉芽腫症	20人
・重症筋無力症	98人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16人
・全身性エリテマトーデス	352人	・多系統萎縮症	42人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	46人	・膿疱性乾癬	2人
・サルコイドーシス	183人	・広範脊柱管狭窄症	15人
・筋萎縮性側索硬化症	45人	・原発性胆汁性肝硬変	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	280人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	113人	・特発性大腿骨頭壊死症	98人
・結節性動脈周囲炎	30人	・混合性結合組織病	46人
・潰瘍性大腸炎	157人	・原発性免疫不全症候群	67人
・大動脈炎症候群	132人	・特発性間質性肺炎	74人
・ピュルガー病	58人	・網膜色素変性症	34人
・天疱瘡	51人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	151人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	115人	・神経線維腫症	12人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	34人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	83人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	7人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	124人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週に5回程度、症例検討会を実施している。 (定例会は週3回。その他随時個別に臨床部門と8回以上開催。)		
剖検の状況	剖検症例数	79例	剖検率 19.1 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
水輸送を担うアクアポリン水チャネルの機能と制御機構	佐々木成	腎臓内科学	69,160	補 日本学術振興会
医療圏における地域疾病構造および患者受療行動に基づく地域医療の評価のあり方に関する研究	伏見清秀	医療情報部	2,000	補 厚生労働省
関節軟骨欠損に対する自己血清を用いた骨髄幹細胞移植法と滑膜幹細胞移植法の比較	宗田大	運動器外科学	2,210	補 日本学術振興会
眼内自然免疫機構と機能分子に関する免疫学的・分子生物学的研究	望月學	眼科学	3,640	補 日本学術振興会
肝移植保存液の新規開発	工藤篤	肝胆臓外科	3,380	補 日本学術振興会
難治性消化器癌における転移・再発の分子診断と分子標的治療の開発	有井滋樹	肝胆臓・総合外科学	15,470	補 日本学術振興会
重症くも膜下出血患者の予後改善を目的とした循環動態の調節方法	磯谷栄二	救命救急センター	3,120	補 日本学術振興会
大動脈粥状硬化病巣への歯周病の関与と血小板凝集の影響についての研究	井上芳徳	血管・応用外科学	1,950	補 日本学術振興会
緑茶カテキンによる食道癌、頭頸部癌化学予防の基礎的、臨床的検討	河野辰幸	血管・応用外科学	650	補 日本学術振興会
塞栓子検出ドブラ装置による肺塞栓症発症リスク評価法の確立	菅野範英	血管外科	1,820	補 日本学術振興会
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	36,000	補 厚生労働省
治験の実施に関する研究[タクロリムス水和物]	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	1,000	補 (社)日本医師会
「多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの臨床試験」の調整・管理に関する研究	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	79,937	補 (社)日本医師会
TREM-1を標的とした関節炎の新規治療法の開発	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	3,200	補 文部科学省
関節リウマチ新治療戦略としてのサイクリン依存性キナーゼ4/6阻害療法	上阪等	膠原病・リウマチ内科学	7,930	補 日本学術振興会
自然免疫および破骨細胞分化に及ぼすCDK4/6の新規機能の解析	村上洋介	膠原病・リウマチ内科学	2,210	補 文部科学省
耳石欠損マウスを用いたAtp2b2遺伝子と加齢性平衡障害の解明	野口佳裕	耳鼻咽喉科	1,430	補 日本学術振興会
難聴遺伝子GJB2と6変異による難聴発症機序の解析	伊藤卓	耳鼻咽喉科学	1,040	補 文部科学省
精子受精能と細胞内情報伝達系についての研究	清水康史	周産・女性診療科	910	補 日本学術振興会
メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現(心房細動関連遺伝子の臨床像との関連解析・機能解析)	磯部光章	循環制御内科学	1,500	委 科学技術振興機構
動脈硬化病変形成における細胞性免疫の関与とその制御による新規治療法の開発	磯部光章	循環制御内科学	2,470	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸炎惹起性免疫記憶T細胞の老化促進を応用した新規治療法の開発	戸塚輝治	消化器内科	1,690	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患における白血球除去療法を用いた制御性T細胞を応用した細胞治療の開発	長堀正和	消化器内科	1,690	補 日本学術振興会
肝幹細胞を用いた幹細胞移植療法とC型肝炎ウイルス感染モデル動物の開発	陳正新	消化器内科	2,210	補 日本学術振興会
HATH1標的遺伝子の網羅的検索における腸管上皮分化調節機構解析	土屋輝一郎	消化器内科	1,690	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患における骨髄IL-7による病原性メモリーT細胞維持機構の解明	根本泰宏	消化器病態学	1,950	補 日本学術振興会
性ステロイドの肺高血圧に及ぼす影響—特発性肺動脈性高血圧の性差を鑑みて—	土井庄三郎	小児科	2,339	補 日本学術振興会
本邦に高頻度存在する脊髄小脳変性症に対する画期的免疫療法の開発	石川欽也	神経内科	1,170	補 日本学術振興会
アルツハイマー病の脳からのAB排泄障害はAB全身クリアランスの障害と関連する	富満弘之	神経内科	3,400	補 文部科学省
腎臓膜輸送体を制御する新規細胞内刺激伝達系の解明	内田信一	腎臓内科学	10,270	補 日本学術振興会
オートファジーによる細胞内感染防御システムと肉芽腫形成機構	江石義信	人体病理学	5,200	補 日本学術振興会
吸着式心筋センサープローブによる冠動脈バイパス術中心筋リアルタイム監視システム	荒井裕国	心肺機能外科学	650	補 日本学術振興会
靭帯骨化症の分子基盤—Runx3遺伝子欠損マウスを用いた検討—	阿江啓介	整形外科	1,560	補 日本学術振興会

末梢神経損傷に対する低分子Gタンパク質発現制御を標的とした遺伝子治療法の確立	若林良明	整形外科学	1,430	補	日本学術振興会
RNA干渉を用いた骨芽細胞、脂肪細胞分化調節因子の新規同定とその機能解析	新井嘉容	整形外科学	1,300	補	日本学術振興会
プロテオミクス解析手法を用いたアルドステロンの血管細胞への直接作用の解明	吉本貴宣	内分泌・代謝内科	1,560	補	日本学術振興会
変異遺伝子特異的な新規RNA干渉法の実用化を目指したin vivo投与での検討	久保寺隆行	脳神経病態学	2,080	補	文部科学省
血液脳関門への新規siRNAデリバリー法の開発	横田隆徳	脳神経病態学	3,200	補	文部科学省
胎生期における疾患原因の作用と小児造血器疾患	水谷修紀	発生発達病態学	10,010	補	日本学術振興会
浸潤性膀胱癌に対する化学放射線療法治療効果予測モデル作成	吉田宗一郎	泌尿器科	1,430	補	文部科学省
ヒートショックプロテイン90阻害剤による泌尿器癌の癌治療耐性克服	古賀文隆	泌尿器科	1,560	補	文部科学省
培養中皮細胞による人工腹膜作製およびその臨床応用	高沢亮治	泌尿器科学	780	補	文部科学省
イン・シリコ・ペプチド医薬の開発	平田結喜結	分子内分泌内科学	15,600	補	日本学術振興会
急性肺傷害におけるI型肺胞上皮傷害の機序および重症度に関する検討	内田篤治郎	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	7,020	補	日本学術振興会
Indoleamine dioxygenaseを標的とした関節リウマチ新規治療法	針谷正祥	薬害監視学講座	1,600	補	文部科学省
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	針谷正祥	薬害監視学講座	6,500	補	日本学術振興会
フラクタルカイン阻害による血管炎症候群に対する新規治療法の開発	南木敏宏	薬害監視学講座	1,950	補	日本学術振興会
危険因子分析法(HAZOP)に基づいた医療安全演習ソフトウェアの開発	大川淳	臨床医学教育開発学	3,120	補	日本学術振興会
新規嚥下障害治療法の開発:大脳嚥下中枢と脳幹CPGを介したアプローチ	山脇正永	臨床教育研修センター	1,950	補	日本学術振興会
白血病幹細胞の病態におけるNotchの役割の解明とその阻害薬の感受性検査法の開発	東田修二	臨床検査医学	1,820	補	日本学術振興会
新規抗リウマチ薬投与に関連して発生する肺合併症に関する多施設症例集積研究	小池竜司	臨床試験管理センター	1,820	補	日本学術振興会
国立大学病院の診療、教育・研修および研究機能に関する評価指標の開発	伏見清秀	医療情報部	2,080	補	日本学術振興会
パラフィン包埋標本を用いたcDNAマイクロアレイの開発と臨床応用	植竹宏之	応用腫瘍学講座	2,860	補	日本学術振興会
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	有井滋樹	肝胆膵・総合外科学	112,112	補	厚生労働省
ヒト角膜内皮細胞に関する免疫学的・分子生物学的機能解析	杉田直	眼科学	1,300	補	日本学術振興会
転写技術を用いた細胞シートの眼再生医療への応用	大野京子	眼科学	1,200	補	文部科学省
補体活性化を中心とした加齢黄斑変性の発症機序解明と新たな治療アプローチ	大野京子	眼科学	5,590	補	日本学術振興会
健康危機管理における効果的な医療体制のあり方に関する研究	大友康裕	救急災害医学	6,300	補	国立保健医療科学院
核内酵素ポリ(ADP-リボース)シンセターゼ阻害による敗血症性ショックの治療戦略	三高千恵子	救命救急医学	910	補	日本学術振興会
炎症後色素沈着の機序の解明と低痕痕創傷治療に関する基礎的研究	岡崎睦	形成外科学分野	10,270	補	日本学術振興会
WNKキナーゼの解析による高血圧発症機序の解明と治療戦略	頼建光	血液浄化療法部	910	補	日本学術振興会
生活習慣病等の重症化予防のための栄養管理の標準化に関する研究	下門顕太郎	血流制御内科学	21,000	補	厚生労働省
聴覚系のグルタミン酸興奮毒性についてのパッチクランプ法による検討	鷹合秀輝	耳鼻咽喉科	650	補	文部科学省
ヒトと実験動物モデルの難聴におけるCDH23遺伝子の関与	喜多村健	耳鼻咽喉科学	2,080	補	日本学術振興会
C型肝炎ウイルスを制御するインターフェロン誘導遺伝子の分子機構と機能修飾の解析	井津井康浩	消化器病態学	2,210	補	文部科学省
生命時空間ネットワーク進化型教育研究拠点	渡辺守	消化器病態学	12,350	委	東京工業大学
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡辺守	消化器病態学	61,100	補	厚生労働省
腸管炎症における上皮分化障害分子機構と粘膜再生誘導解析	渡辺守	消化器病態学	18,720	補	日本学術振興会
不全心機能改善を目的としたAAV9-D1NLS/CDK4による心筋細胞増殖誘導	宮城直人	心臓・肺外科	2,210	補	文部科学省

肺がんにおけるカルボキシペプチダーゼMの発現と予後の研究	藤原直之	心肺機能外科学	2,600	補 文部科学省
疾患起因性変異蛋白の解析による腎臓の水・電解質トランスポートソームの解明	内田信一	腎臓内科学	15,100	補 文部科学省
Runx1による軟骨初期分化調節の分子機構の解明と軟骨再生医療への応用	神野哲也	整形外科	1,300	補 日本学術振興会
メタボリックシンドロームに伴う関節軟骨変性の分子機構解析	加藤剛	整形外科	1,430	補 日本学術振興会
3次元磁界測定により神経細胞内・細胞外電流を評価し、神経障害の病態を解明する	友利正樹	整形外科	1,000	補 文部科学省
SQUID磁束計を用いた脊髄機能診断法の臨床応用	川端茂徳	整形外科	1,430	補 日本学術振興会
大型骨組織再生を目指した骨髄間葉系細胞を用いた治療法の総合的研究	早乙女進一	整形外科	2,080	補 文部科学省
磁気共鳴スペクトロスコピーによる低酸素性虚血性脳症の病態解析	宮坂尚幸	生殖機能協働学	650	補 日本学術振興会
統合失調症の分子病態の解明	西川徹	精神行動医科学	4,000	補 文部科学省
グルタミン酸伝達調節による難治性統合失調症状の新規治療法開発に関する研究	西川徹	精神行動医科学	7,670	補 日本学術振興会
大腸癌における肝転移を規定するmicroRNAの同定と機能解析	本山一夫	大腸・肛門外科	1,040	補 日本学術振興会
頭蓋底病変に対する至適な外科的アプローチ法と再建法の選択のための解剖学的研究	岸本誠司	頭頸部外科学	1,690	補 日本学術振興会
PET膜輸送担体機能定量法に基づいた悪性脳腫瘍のターゲット療法の開発	成相直	脳神経外科	1,235	補 日本学術振興会
治験の実施に関する研究[酢酸リュープロレリン]	水澤英洋	脳神経病態学	4,300	補 (社)日本医師会
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	水澤英洋	脳神経病態学	121,249	補 厚生労働省
内因性ベクターを用いた中枢神経系への新規siRNAデリバリー方法の開発	横田隆徳	脳神経病態学	3,800	補 文部科学省
神経・筋疾患のRNAiを用いた画期的治療法の開発	水澤英洋	脳神経病態学	36,400	補 厚生労働省
内因性神経前駆細胞の制御による脳血管障害の神経再生治療法の研究	水澤英洋	脳神経病態学	1,300	補 文部科学省
再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究	森尾友宏	発生発達病態学	39,000	補 厚生労働省
DNA損傷シグナルに対する生体反応及び損傷修復機構の解析	森尾友宏	発生発達病態学	200	委 日本学術振興会
先天性免疫不全症における自己免疫疾患・悪性腫瘍の発生・成立機序の解析	森尾友宏	発生発達病態学	2,470	補 日本学術振興会
治療抵抗性GVHDの機序解明と治療法の探索	長澤正之	発生発達病態学	1,950	補 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎のPTDを用いたB7分子標的療法	横関博雄	皮膚科学	1,200	委 日本学術振興会
siRNAを用いSTAT6を標的とした皮膚アレルギー疾患の遺伝子療法	横関博雄	皮膚科学	1,690	補 日本学術振興会
好塩基球を標的としたアトピー性皮膚炎の新治療の試み	高山かおる	皮膚科学	1,170	補 文部科学省
新規クラス抗HCV薬開発に向けた抗ウイルス化合物・宿主蛋白の包括的探索	坂本直哉	分子肝炎制御学講座	8,840	補 日本学術振興会
分子シャペロン、小胞体(ER)ストレスとHCV複製増殖動態の解析	中川美奈	分子肝炎制御学講座	2,210	補 文部科学省

計 96件

- 注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入する。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者に複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は、「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけたうえで、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表者等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Proc Natl Acad Sci USA. 2008 Feb 26;105(8):3047-52	Antisera induced by infusions of autologous Ad-CD154-leukemia B cells identify ROR1 as an oncofetal antigen and receptor for Wnt5a	Fukuda T	血液内科
Bone Marrow Transplant. 2008 Mar;41(6):515-21	Functional analysis of cytomegalovirus-specific T lymphocytes compared to tetramer assay in patients undergoing hematopoietic stem cell transplantation	Morita-Hoshi Y	血液内科
J. Immunol. 180:1954-1961, 2008	Successful treatment of animal models of rheumatoid arthritis with small-molecule cyclin-dependent kinase inhibitors	Kohsaka H	膠原病・リウマチ内科
Endocr J 2008;55:839-846	Diagnostic accuracy of adrenal venous sampling in comparison with other parameters in primary aldosteronism	Minami I	内分泌・代謝内科
Endocr J 2008;55:905-911	Defective expression of prohormone convertase 4 and enhanced expression of insulin-like growth factor II by pleural solitary fibrous tumor causing hypoglycemia	Iani Y	内分泌・代謝内科
Endocr J 2008;55:121-126	Late-night salivary cortisol as a screening test for the diagnosis of Cushing's syndrome in Japan	Doi M	内分泌・代謝内科
Endocr J 2008;55:853-859	Improvement of endothelial dysfunction in acromegaly after transsphenoidal surgery	Sakai H	内分泌・代謝内科
平成19年度総括分担研究報告書 68-71, 2008	ヒトACTH産生下垂体腫瘍における各種遺伝子発現異常の解析：厚生省科学研究費補助金（難治性疾患克服事業）脳下垂体機能障害に関する調査研究（千原和夫班長）	平田結喜緒	内分泌・代謝内科
ACTH RELATED PEPTIDES 19:-, 2008	局在診断に難渋した気管支カルチノイドによる異所性ACTH症候群の1例	谷 祐至	内分泌・代謝内科
ACTH RELATED PEPTIDES 19:-, 2008	ヒト下垂体ACTH産生腫瘍における各種遺伝子発現の異常	館野 透	内分泌・代謝内科
Kidney Int. 74:1403-9, 2008	Dietary salt regulates the phosphorylation of OSR1/SPAK kinases and the sodium chloride cotransporter through aldosterone	Chiga M	腎臓内科
Kidney Int. 73:1240-50, 2008	Expression and function of the Delta-1/Notch-2/Hes-1 pathway during experimental acute kidney injury	Kobayashi T	腎臓内科
Kidney Int. 73:430-445, 2008	The phosphoinositide-3 kinase gamma-Akt pathway mediates renal tubular injury in cisplatin nephrotoxicity	Kuwana H	腎臓内科
J. Cell Biol. 182:587-601, 2008	Reciprocal interaction with G-actin and tropomyosin is essential for aquaporin-2 trafficking	Noda Y	腎臓内科
J. Am. Soc. Nephrol. 19:298-309, 2008w	Aldosterone-stimulated SGK1 activity mediates profibrotic signaling in the mesangium	Terada Y	腎臓内科
Circ J 72:582-587, 2008	Effect of Left Atrial Ablation on the Quality of Life in Patients with Atrial Fibrillation	Miyzaki S	循環器内科
comparison with stress myocardial perfusion imaging. J Nuc Med, in press	Quantitative measures of coronary stenosis severity by 64-slice computed tomography angiography and relation to physiologic significance of perfusion in non-obese patients	Sato A	循環器内科
Eur Heart J, 29:490-498, 2008	Early validation study of 64-slice multidetector computed tomography for the assessment of myocardial viability and the prediction of left ventricular remodeling after acute myocardial infarction	Sato A	循環器内科
J Am Coll Cardiol, 51:1977-1985, 2008	Clarithromycin Attenuates Acute and Chronic Rejection via WWP Suppression in Murine Cardiac Transplantation	Ogawa M	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol 19: 62-68, 2008	Influence of meals on variations of ST segment elevation in patients with Brugada syndrome	Nishizaki M	循環器内科
Int Heart J 49: 105-118, 2008	Blockade of the 4-1BB pathway attenuates graft arterial disease in cardiac allografts	Saiki H	循環器内科
J Gene Med 10: 805-809, 2008	Long-term follow up of initial clinical cases with NF-kB decoy oligodeoxynucleotide transfection at the site of coronary stenting	Egashira K	循環器内科
Expert Opin Ther Targets 12: 1-12,783-794, 2008	The effects of pharmacological PAI-1 inhibition on thrombus formation and neointima formation after arterial injury	Suzuki J	循環器内科
Cardiovasc Res 80: 181-190, 2008	Cardiomyocyte proliferation and protection against post-myocardial infarction heart failure by cyclin D1 and Skp2 ubiquitin ligase	Tanamori-Adachi M	循環器内科
Expert Opin Ther Targets. 12: 1313-20, 2008	A specific inhibitor of plasminogen activator inhibitor-1 suppresses rat autoimmune myocarditis	Suzuki J	循環器内科
Cardiovasc Res. published on line, Sept 2008	Pharmacological activation of the prostaglandin E ₂ receptor EP4 improves cardiac function after myocardial ischemia/reperfusion injury	Hishikari K	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol Ther 13: 58-63, 2008	Coronary endothelial dysfunction and impaired microcirculation response to atrial natriuretic peptide in hyperinsulinemia	Ashikaga T	循環器内科
Journal of Cardiac Failure 15 : 300-304, 2009	Clinical characteristics of acute decompensated heart failure with rapid onset of symptoms	Konishi M	循環器内科
J Gene Med. published on line, Nov 10, 2008	An initial case of suppressed restenosis with NF-kB decoy transfection after PCI	Suzuki J	循環器内科
Expert Opin Ther Targets. 12: 1469-1476, 2008	A novel IKK inhibitor suppresses heart failure and chronic remodeling after myocardial ischemia via WWP alteration	Wakatsuki S	循環器内科
J Am Coll Cardiol. 2008;51:1003-10	Characterization of electrograms associated with termination of chronic atrial fibrillation by catheter ablation	Takahashi Y	循環器内科
Heart Rhythm. 2008;5:1458-1460	Ventricular fibrillation initiated by premature beats from the ventricular myocardium not associated with the Purkinje system after myocardial infarction	Takahashi Y	循環器内科
a pilot study. Endoscopy. 40:936-938, 2008	Single-operator method for double-balloon endoscopy	Araki A	消化器内科
Eur J Immunol. 38:3290-3303, 2008	FLV720 suppresses the development of colitis in lymphoid-null mice by modulating the trafficking of colitogenic CD4+ T cells in bone marrow	Fujii T	消化器内科
Methods of Information in Medicine. 47:157-166, 2008	Development of a telediagnosis endoscopy system over secure internet	Sakamoto N	消化器内科

Cancer Sci. 2008;99(8):1539-45	Caffeine yields aneuploidy through asymmetrical cell division caused by misalignment of chromosomes	Katsuki Y	小児科
Clin Pediatr Endocrinol. 2008;17(2):49-56	In Vitro Enzyme Assay of CYP21A2 Mutation (R483Q) by A Novel Method Using Liquid Chromatography-Electrospray Ionization Tandem Mass Spectrometry (LC-ESI-MS/MS)	Ono M	小児科
Am J Hematol. 2008; 83(3):222-5	Soluble TWEAK is markedly elevated in hemophagocytic lymphohistiocytosis	Nagasawa M	小児科
Acta Neuropathol. 2008;115(5):547-59	Mechanisms of neurodegeneration in mucopolysaccharidoses II and III B: analysis of human brain tissue	Hamano K	小児科
Neurosci Res. 62: 155-159, 2008	Effects of F67142 and immobilization stress on the gene expression in the neocortex of mice	Kurumaji A	精神科
J Neural Transm. 115:1355-1365, 2008	An association analysis of synapse-associated protein 97 (SAP97) gene in schizophrenia	Nishikawa T	精神科
Lancet 372(9651): 1782, 2008	Sliding doors (but not with beans or tofu)	Yamamoto N	精神科
精神神経学雑誌. 110: 791-796, 2008	「臨床記述と診断ガイドライン」および「研究用診断基準」の気分(感情)障害における有用性と問題点	車地暁生	精神科
精神科. 13: 66-69, 2008	炭酸リチウム投与開始後19年経過して甲状腺機能低下症を発症した双極性障害の1例	車地暁生	精神科
Ann Surg 2008; 247: 962-7	A comparison of Roux-en-Y and Billroth-I reconstruction after laparoscopic-assisted distal gastrectomy	Kojima K, Yamada H, Inokuchi M, Kawano T, Sugihara K	大腸・肛門外科
Clin Anat 2008; 21: 558-67	Development of the human hypogastric nerve sheath with special reference to the topohistology between the nerve sheath and other prevertebral fascial structures	Kinugasa Y, Niikura H, Murakami G, Suzuki D, Saito S, Tatsumi H, Ishii M	大腸・肛門外科
Int J Oncol 2008; 33: 1257-62	Messenger RNA expression of TS and ERCC1 in colorectal cancer and matched liver metastasis	Kobayashi H, Sugihara K, Uetake H, Higuchi T, Yasuno M, Enomoto M, Iida S, Azuma M, Mori R, Omori A, Lenz HJ, Danenberg K, Danenberg P	大腸・肛門外科
J Neurosurg 2008 Oct 10. [Epub ahead of print]	Glioma surgery using a multimodal navigation system with integrated metabolic images	Tanaka Y	脳神経外科
小児の脳神経 33: 409-413, 2008	小児難治てんかんにおけるナビゲーションガイド下手術の有用性	前原健寿	脳神経外科
Epilepsy 2:128-131, 2008	脳波所見と画像所見の側方性が不一致であった症例のてんかん外科	前原健寿	脳神経外科
Neurosurgical Emergency 13: 174-181, 2008	くも膜下出血後の循環動態とPICCO plusによるモニタリング	磯谷栄二	脳神経外科
JOURNAL OF HAND SURGERY-EUROPEAN VOLUME. 33E(5):605-608,2008.1	TREATMENT OF DISTAL RADIUS FRACTURES WITH A WRIST-BRIDGING EXTERNAL FIXATION: THE VALUE OF ALTERNATING ELECTRIC CURRENT STIMULATION	Shinomiya K	整形外科
JOURNAL OF BIOMEDICAL MATERIALS RESEARCH PART A. 85A(4):919-928,2008.06	Enhanced nerve regeneration through a bilayered chitosan tube: The effect of introduction of glycine spacer into the CYIGSK sequence	Wang W	整形外科
CLINICAL NEUROPHYSIOLOGY. 119(5):1111-1118,2008.05	Evaluation of segmental spinal cord evoked magnetic fields after sciatic nerve stimulation	Tomizawa S	整形外科
JOURNAL OF VETERINARY MEDICAL SCIENCE. 70(1):37-42,2008.01	Enhanced type X collagen expression in the extruded nucleus pulposus of the chondrodystrophic dog	Shinomiya K	整形外科
Journal of medical and dental science. 55():137-143,2008	Effects of cryopreservation on bone marrow derived mesenchymal cells of a nonhuman primate	Sayaka I	整形外科
Journal of medical and dental science. 55():91-99,2008	Effects of pore size and implant volume of porous hydroxyapatite/collagen (HAp/Col) on bone formation in a rabbit bone defect model	Akio T	整形外科
JOURNAL OF BIOMEDICAL MATERIALS RESEARCH PART A. 84A(3):846-846,2008.03	Influences of mechanical properties and permeability on chitosan nano/microfiber mesh tubes as a scaffold for nerve regeneration (vol 84, pg 557, 2008)	Wang W	整形外科
The Journal of Veterinary Medical Science. 70巻(1号):37-42,2008.01	軟骨異栄養性犬種の変性髄核における増強したX型コラーゲン発現	四宮謙一	整形外科
脊髄機能診断学. 29巻(1号):47-52,2008.02	脊髄誘発磁界を用いた脊髄不完全損傷の診断	友利正樹	整形外科
脊髄機能診断学. 29巻(1号):53-57,2008.02	頭顔症手術症例の予後診断における術前脊髄誘発電位の有用性の検討	友利正樹	整形外科

整形外科. 59巻(4号):343-346, 2008.04	腰椎椎間板ヘルニアに対する後方進入内視鏡下椎間板摘出術における低侵襲手術としての有用性の検討	四宮 謙一	整形外科
日本人工関節学会誌. 38巻():420-421, 2008.12	小皮切後側方進入による人工股関節全置換術	神野 哲也	整形外科
Progress in Biomedical Optics and Imaging. Vol.9, No27, 2008	Establishment of mesenchymal stem cells derived from bone marrow and synovium of transgenic rats expressing dual reporter genes	Horie M	運動機能再建学
comparisons with bone marrow mesenchymal stem cells and with fetal bovine serum Arthritis Rheum. 2008 Feb;58(2):501-10	Sekiya I Increased proliferation of human synovial mesenchymal stem cells with autologous human serum	Nimura A	運動機能再建学
Arthritis Rheum. 2008 May;58(5):1389-98	Analysis of the chondrogenic potential of human synovial stem cells according to harvest site and culture parameters in knees with medial compartment osteoarthritis	Nagase T	運動機能再建学
Cell Tissue Res 2008 Jun;332(3):469-78	Synovial mesenchymal stem cells accelerate early remodeling of tendon-bone healing	Ju YJ	運動機能再建学
Rheumatology (Oxford). 2008 Aug;47(8):1137-43	Synovial fluid-derived mesenchymal stem cells increase after intra-articular ligament injury in humans	D.Morito I	運動機能再建学
Cell Tissue Res. 2008 Aug;333(2):207-15	Comparison of mesenchymal tissues-derived stem cells for in vivo chondrogenesis: suitable conditions for cell therapy of cartilage defects in rabbit	Koga H	運動機能再建学
J Orthop Res. 2008 Oct;26(10):1413-8	Autologous synovial fluid enhances migration of mesenchymal stem cells from synovium of osteoarthritis patients in tissue culture system	Zhang S	運動機能再建学
protective effect of intraarticular hyaluronan injection Arthritis Res Ther. 2008;10(1):R13	Serum keratan sulfate transiently increases in the early stage of osteoarthritis during strenuous running of rats	Tang T	運動機能再建学
Arthritis Res Ther. 2008;10(4):R84	Local adherent technique for transplanting mesenchymal stem cells as a potential treatment of cartilage defect	Koga H	運動機能再建学
J Orthop Res. 2008 Oct 30. [Epub ahead of print]	Mesenchymal stem cells derived from synovium, meniscus, anterior cruciate ligament, and articular chondrocytes share similar gene expression profiles	Segawa Y	運動機能再建学
Arthritis Res Ther. 2008;10(5):R118. Epub 2008 Sep 30	Weekly intra-articular injections of bone morphogenetic protein-7 inhibits osteoarthritis progression	Hayashi M	運動機能再建学
Clin Exp Allergy : 38 (8):1357-66.2008	CRTH2-dependent, STAT6-independent induction of cedar pollen dermatitis	Oiwa M, Sato T, Watanabe M, Niwa H, Hirai K, Nakamura M, Yokozei H	皮膚科
Dermatology : 217 (4):374-7.2008	Seborrheic area erythema as a common skin manifestation in Japanese patients with dermatomyositis	Okiyama N, Kohsaka H, Ueda N, Sato T, Katayama I, Nishioka K, Yokozei H	皮膚科
Acta Derm Venereol : 88 (5):506-8.2008	Increased expression of hematopoietic prostaglandin D synthase in CCR4-positive T cells from patients with atopic dermatitis	Shimura C, Sato T, Yokozei H	皮膚科
Anai Biochem : 383 (2):265-9.2008	A novel approach to enhance antibody sensitivity and specificity by peptide cross-linking	Naniki T, Valencia JC, Hall MD, Hearing VJ	皮膚科
Dermatology : 217 (4):378-9.2008	Prurigo in dermatomyositis	Higuchi I, Sato T, Yokozei H	皮膚科
Br J Dermatol : 157 (6):1284-7.2008	Transient macular erythema with eosinophilia in a patient carrying the FIP1L1-PDGFR α fusion gene	Yahara H, Sato T, Hashimoto T, Yokozei H	皮膚科
J Immunol : 181 (8):5653-9.2008	Overproduction of IgE induces macrophage-derived chemokine (CCL22) secretion from basophils	Watanabe M, Sato T, Yamamoto Y, Kanai Y, Karasuyama H, Yokozei H	皮膚科
皮膚病診療, 30 (12):1426-9.2008	塩化亜鉛パッチテスト陽性例における亜鉛筆(単)軟膏使用の是非	高山かおる, 佐藤真浩, 横関博雄	皮膚科
発汗学, 15 (supl):3-7.2008	掌跖多汗症の概念と診断	田中智子	皮膚科

Surg Endosc. 22(7): 1672-1677, 2008	A novel method for artery detection in laparoscopic surgery	Akbari H, Kihara K	泌尿器科
Urology 72: 598-602, 2008	Incidence of benign pathologic lesions at partial nephrectomy for presumed RCC renal masses: Japanese dual-center experience with 176 consecutive patients	Fujii Y	泌尿器科
Int J Urol. 15: 44-47, 2008	Oncological outcome of minimum incision endoscopic radical nephrectomy for pathologically organ confined renal cell carcinoma	Iimura Y	泌尿器科
Urology 72: 384-388, 2008	Low-dose chemoradiotherapy followed by partial or radical cystectomy against muscle-invasive bladder cancer: an intention-to-treat survival analysis	Koga F	泌尿器科
Int J Urol. 15: 1061-1066, 2008	Three-dimensional 26-core biopsy-based patient selection criteria for nerve-sparing radical prostatectomy	Nunao N	泌尿器科
Eur Urol. 54: 471, 2008	Reply to Rafael Boscolo-Berto, Antonio Galfano and Massimo Iafrate's Letter to the Editor re: Noburu Numao, Satoru Kawakami, Minato Yokoyama et al. Improved Accuracy in Predicting the Presence of Gleason Pattern 4/5 Prostate Cancer by Three-Dimensional 26-Core Systematic Biopsy	Nunao N	泌尿器科
Int J Urol. 15: 328-331, 2008	Prospective comparative study of single dose versus 3-day administration of antimicrobial prophylaxis in minimum incision endoscopic radical prostatectomy	Sakura M	泌尿器科
J Urol. 180: 515-519, 2008	Prognostic impact of postoperative C-reactive protein level in patients with metastatic renal cell carcinoma undergoing cytoreductive nephrectomy	Tatokoro M	泌尿器科
Int J Urol. 5(9): 848-850, 2008.1	Favorable response to combination treatment of cimetidine, cyclooxygenase-2 inhibitor and renin-angiotensin system inhibitor in metastatic renal cell carcinoma: Report of three cases	Tatokoro K	泌尿器科
BJU Int. 101: 978-981, 2008	C-reactive protein level predicts prognosis in patients with muscle-invasive bladder cancer treated with chemoradiotherapy	Yoshida S	泌尿器科
Int J Urol. 15: 140-143, 2008	Initial experience of functional imaging of upper urinary tract neoplasm by diffusion-weighted magnetic resonance imaging	Yoshida S	泌尿器科
Am J Ophthalmol 145:518-526, 2008	Photodynamic therapy with verteporfin for choroidal neovascularization of pathologic myopia in Japanese patients: Comparison with nontreated controls	Ohno-Matsui K	眼科
Br J Ophthalmol, 92:505-508, 2008	Association of varicella zoster virus load in the aqueous humor with clinical manifestations of anterior uveitis in herpes zoster ophthalmicus and zoster sine herpate	Mochizuki M	眼科
Br J Ophthalmol, 92:928-932, 2008	Use of multiplex PCR and real-time PCR to detect human herpes virus genome in ocular fluids of patients with uveitis	Mochizuki M	眼科
Jpn J Ophthalmol, 52:463-476, 2008	Quantitative PCR for the detection of genomic DNA of epstein-barr virus in ocular fluids of patients with uveitis	Sugita S	眼科
Acta Otolaryngol 128: 365-8, 2008	Pros and cons of tinnitus retraining therapy	Kitamura K	耳鼻咽喉科
Equilibrium Res 67(4): 311-5, 2008	V0Gによる矢状断面での静的頭部傾斜時のListing平面の計測	喜多村健	耳鼻咽喉科
Equilibrium Res 67(6): 522-7, 2008	市販3DV0GデータのFick座標系から主軸解析への変換とその信頼性	喜多村健	耳鼻咽喉科
日本鼻科学会誌 47: 76-8, 2008	前・中頭蓋底へのアプローチ ナビゲーション, 内視鏡, 実体模型	角田篤信	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望51: 355-9, 2008	耳鼻咽喉科領域におけるナビゲーション手術(その適応と基準づくりに向けて); 頭頸部手術を中心とした当科の経験及び外保連試案における手術技術度とナビゲーションシステムの必要性との相関について	杉本太郎	耳鼻咽喉科
Fertility and Sterility. 90(2):427-428,2008	Unusual uterus didelphys presenting in the retroperitoneum	Yoshiki N	周産・女性診療科
J Pharmacol Sci.Mar, 106(3):385-93 2008	Possible involvement of altered arginase activity, arginase type I and typeII expressions, and nitric oxide production in occurrence of intimal hyperplasia in premenopausal human uterine arteries	Marinova GV	周産・女性診療科
Reproductive Medicine and Biology, 7:143-149,2008	Increase in the concentration of cytosolic-free calcium induced by human follicular fluid was decreased in single human spermatozoon with abnormal morphology	Yasufumi Shimizu	周産・女性診療科
Osteoporosis Japan, 16(2):293-297,2008.4	閉経後骨粗鬆症に対する薬剤選択について	尾林聡	周産・女性診療科
Radiotherapy and Oncology 87:237-242, 2008	prediction of lymphatic metastasis based on gene expression profile analysis after brachytherapy for early-stage oral tongue carcinoma	Watanabe H, Wogushi K, Miura M, Yoshimura R, Kurabayashi T, Shibuya H, Tanaka H, Noda S, Iwakawa M, Imai T	画像診断・ 放射線治療科
Ophthalmologica. 223(2): 96-101, 2008	Electron Therapy for Orbital and Periorbital Lesions Using Customized Lead Eye Shields	Hayashi K, Hatsuno K, Yoshimura R, Iida T, Ayukawa F, Toda K, Taniguchi H, Shibuya H	画像診断・ 放射線治療科

J Nuc Med. 48:1053-1059, 2008	18F-FDG uptake in reactive neck lymph nodes of oral cancer: relationship to lymphoid follicles	Nakagawa T, Yamada M, Suzuki Y	画像診断・ 放射線治療科
臨床麻酔 2008;32:1707-8	CABC後の冠動脈閉塞のためIABPによる循環補助を併用した、肝後区域切除術の麻酔経験	伊藤裕之	麻酔・蘇生・ ペインクリニック科
J Neurol 2008; 255: 773-774	Chiasmal optic neuritis following mumps parotitis	Irioka T	神経内科
Molecular Therapy 2008; 16: 734-740	Efficient In Vivo Delivery of siRNA to the Liver by Conjugation of α -Tocopherol	Nishina K	神経内科
Acta Biochimica Polonica 2008; 55: 681-686	Developmental regulation of rat Ubc 9 in the nervous system	Watanabe M	神経内科
Acta Neurochir Supp 2008; 96: 299-302	Long-term cognitive and neuropsychological symptoms after global cerebral ischemia in Mongolian gerbils	Ishibashi S	神経内科
Neuroscience Research 2008; 60: 314-318	Myocardial nerve fibers are preserved in MPTP-treated mice, despite cardiac sympathetic dysfunction	Amino T	神経内科
J Med Dent Sci 2008; 55: 145-153	Analyses of copy number and mRNA expression level of the α -synuclein gene in multiple system atrophy	Jin H	神経内科
Acta Neuropathol 2008; 116: 247-260	Close association of water channel AQP1 with amyloid- β deposition in Alzheimer disease brains	Misawa T	神経内科
Neuropathology 2008; 28: 277-285	Significant increase in the expression of matrix metalloproteinase 7 in primary CNS lymphoma	Watanabe T	神経内科
Brain Pathol 2008; 18: 415-422	Three-Layered Structure Shared Between Lewy Bodies and Lewy Neurites-Three- Dimensional Reconstruction of Triple-Labeled Sections	Kanazawa T	神経内科
Mov Disord 2008; 23: 1615-1616	Antihistamine-associated myoclonus: A case report	Irioka T	神経内科
Intern Med 2008; 47: 1287-8	Pseudoradicular sensory loss caused by a cerebral demyelinating lesion	Nunakawa Y	神経内科
Neurosci Lett. 2008; 447: 78-81	Cell-type-specific alternative splicing in spinocerebellar ataxia type 6	Tsunemi T	神経内科
Proc Natl Acad Sci U S A. 2008; 105: 11987-92	Spinocerebellar ataxia type 6 knockin mice develop a progressive neuronal dysfunction with age-dependent accumulation of mutant CaV2.1 channels	Watanabe K	神経内科
J Hum Genet 2008; 53: 287-95	Direct and accurate measurement of CAG repeat configuration in the ataxin-1 (ATXN1) gene by "dual-fluorescence labeled PCR-restriction fragment length analysis"	Lin JX	神経内科
臨床神経学 2008; 48: 120-124	Octreotideシンチグラフィにより原因腫瘍を発見した腫瘍性骨軟化症性ミオパシーの1例	高橋 真	神経内科
日本胸部臨床 2008; 67: 516-522	重症筋無力症と自己免疫性甲状腺疾患とを同時合併したサルコイドーシスの1例	半田 寛	神経内科
Mitral Complex Remodeling. Ann Thorac Surg. 2008;85:1820-2	New Surgical Procedure for Ischemic/Functional Mitral Regurgitation	Hirokuni Arai	心臓・肺外科
平成19年度研究報告書 2008: 52-53	特発性肺線維症に対するシクロスポリン併用ステロイド療法に関する前向き多施設共同治療研究-中間報告 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性肺線維症の予後改善を目指したシクロスポリン+ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究報告書	吉澤靖之	呼吸器内科
日本整形外科学会誌 Vol.27(4): 351-355, 2008	足関節捻挫に対する高気圧酸素療法の有効性	柳下和慶	高気圧治療部
Surg Endosc 22:2466-2469, 2008	Reliability of endoscopic esophageal mucosectomy using Txhood, a multipurpose treatment hood	Kawano T, Haruki S, Ogiya K, Kawada K, Nakajima Y, Nishikage T, Kojima K, Nagai K, Kawachi H	病理部
Lab Invest. 88: 664-81, 2008	Helicobacter pylori invades the gastric mucosa and translocates to the gastric lymph nodes	Ito T, Kobayashi D, Uchida K, Takemura T, Nagaoka S, Kobayashi I, Yokoyama T, Ishige I, Ishige Y, Ishida N, Furukawa A, Muraoka H, Ikeda S, Sekine M, Ando N, Suzuki Y, Yamada T, Suzuki T, Eishi Y	病理部

Chest134:1265-70,2008	Clinical predictors and histologic appearance of acute exacerbations in chronic hypersensitivity pneumonitis	Miyazaki Y, Tateishi T, Akashi T, Ohtani Y, Inase N, Yoshizawa Y	病理部
J Urol 180:1290-1295, 2008	External validation of the Mayo Clinic cancer specific survival score in a Japanese series of clear cell renal cell carcinoma	Fujii Y, Saito K, Iinura Y, Sakai Y, Koga F, Kawakami S, Kumagai J, Kihara K	病理部
Virchows Arch 453:79-87, 2008	Expression and intracellular localization of matrix metalloproteinases in intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas	Tamashashi U, Kumagai J, Takizawa T, Sekine M, Eishi Y	病理部
Radiology 246:444-453, 2008	Colorectal carcinoma: in vitro evaluation with high-spatial-resolution 3D constructive interference in steady-state MR imaging	Yamada I, Okabe S, Enomoto M, Sugihara K, Yoshino N, Tetsunura A, Kumagai J, Shibuya H	病理部
Br J Surg 95(5):611-9,2008	Aurora kinase B is a predictive factor for the aggressive recurrence of hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy	Tanaka S, Arii S, Yasen M, Mogushi K, Su NT, Zhao C, Imoto J, Eishi Y, Inazawa J, Miki Y, Tanaka H	病理部
Crit Care Med 2008;36:745-751	Effects of human atrial natriuretic peptide on renal function in patients undergoing abdominal aortic aneurysm repair	Mitaka C	集中治療部
Hepato-Gastroenterology 55(86-87) 1631-1635, 2008	A pilot trial of docetaxel and nedaplatin in cisplatin-pretreated relapsed or refractory esophageal squamous cell cancer	Nakajima Y	集中治療部
Esophagus 5:27-32, 2008	Argon plasma coagulation for local recurrence of squamous cell carcinoma of the esophagus after endoscopic mucosal resection: technique and outcome	Kawada K	集中治療部
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62(4): 366-403, 2008	Relationship between exploratory eye movement, P300, and reaction time in schizophrenia	Watsushima E	心身医学科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62(5): 487-493, 2008	Impairment of exploratory eye movement in schizophrenia patients and their siblings	Watsushima E	心身医学科
Journal of Electromyography and Kinesiology 18: 154-159, 2008	A proposal for a new definition of the axial rotation angle of the shoulder joint	Morita Sadao	リハビリテーション部
Auris Nasus Larynx 35: 109-113, 2008	First-bite syndrome: A review of 29 patients with parapharyngeal space tumor	Kawashima Y	頭頸部外科
耳展 51: 355-359, 2008	耳鼻咽喉科領域におけるナビゲーション手術（その適応と基準づくりに向けて）：頭頸部手術を中心とした当科の経験及び外保連試案における手術技術度とナビゲーションシステムの必要性との相関について	杉本太郎	頭頸部外科
脳神経外科 36(2):135-145,2008	頭蓋底・顔面深部病変に対する共同手術	青柳傑	頭頸部外科
頭頸部癌34:261-264,2008	頭蓋底・顔面深部へのアプローチについて	角田篤信	頭頸部外科
耳展51(5):395-397,2008	実物大臓器立体モデルによる頭蓋底手術支援	角田篤信	頭頸部外科
Molecular Therapy 2008 ; 16(4) : 734 - 740	Efficient In Vivo Delivery of siRNA to the Liver by Conjugation of α -Tocopherol	Kanouchi T	検査部

計 149件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること
(当該医療技術に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長	坂本 徹
管理担当者氏名	総務課長	富田 有一
	管理課長	菅瀬 真生
	医事課長	鈴木 茂男

	保 管 場 所	分 類 方 法	
診療に関する諸記録 処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、 紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療 経過の要約	医学部附属病院病歴 管 理 室	[入院カルテ] 入院中は当該病棟で管理し退院後は病歴管理室 において一括管理を行っている。 [外来カルテ] 患者一カルテを実施しており、カルテは病歴管理 室において管理を行っている。	
病院日誌	医学部総務課		
各科診療日誌、エックス線写真	各診療科		
病院の管理及び運 営に関する諸記録	従事者数を明らかにする帳簿	総務部人事課	
	高度な医療の提供に係る実績	医学部医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価に係る実績	医学部管理課	
	高度の医療の研修に係る実績	医学部総務課	
	閲覧実績	医学部総務課	
	紹介患者に対する医療提供に係る実績	医学部医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らか にする帳簿	医学部医事課 医学部附属病院 薬剤部	
	状 規 況 則 第 9 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の	専任の医療に係る安全管理を行う 者の配置状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		専任の院内感染対策を行う者の配 置状況	医学部附属病院 院内感染対策室
		医療に係る安全管理を行う部門の 設置状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		当該病院内に患者からの安全管 理に係る相談に適切に応じる体制 の確保状況	医学部附属病院 患者相談室
		医療に係る安全管理のための指 針の整備状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医療に係る安全管理のための委 員会の開催状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医療に係る安全管理のための職 員研修の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医療機関内の事故報告等の医療 に係る安全の確保を目的とした改 善のための方策状況	医学部附属病院 安全管理対策室

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医学部附属病院 院内感染対策室
		院内感染のための委員会の開催状況	医学部附属病院 院内感染対策室
		従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医学部附属病院 院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部附属病院 院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部附属病院 安全管理対策室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	加藤 健(医学部事務部長)
閲覧担当者氏名	富田 有一(医学部総務課長)
閲覧の求めに応じる場所	医学部附属病院1階会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.13%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		16,416人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,749人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,732人
	D: 初診の患者の数		38,275人

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員 : 専任(1)名 兼任(2)名 ・ 活動の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> (1) 事故・インシデント等の情報収集、分析、改善。 (2) 安全管理対策の立案・調整・周知・評価。 (3) 職員への教育研修の企画、実施・マニュアルの作成。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○ インフォームドコンセントを徹底した患者本位の全人的医療、安全な医療の提供を行う。 ○ 医療現場でのインシデント報告を通しての検証及び事故防止対策を策定・実施する。 ○ 医療における基本の徹底と質の向上を図る。 ○ 上記の目的を実施するため、次の機構を組織 <ul style="list-style-type: none"> (1) 安全管理委員会…本院における医療事故防止に関する方策の検討・実施、各種マニュアルの策定及び研修等を行う。 (2) リスクマネージャー会議…各診療科、中央診療部門の中核となる実務者で構成し、日常における安全管理レポート等からの事故の検証と再発防止につとめる。 (3) 安全管理対策室…安全管理レポートの調査分析等を行うとともに、事故防止に関する適宜マニュアルの追加並びに指導を行う。 ○ 患者からの相談に対応するため、院内に患者相談室を置き、必要に応じ、関連部署との連絡調整を行い、相談内容を適切に処理する。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 48 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理委員会(26回) ・ リスクマネージャー会議(11回) ・ 安全管理対策室会議(11回) ・ 活動の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事故防止に関する方策の検討・実施、各種マニュアルの策定及び研修等を行う。 ○ 安全管理レポート等からの事故の検証と再発防止につとめる。 ○ 安全管理レポートの調査分析等を行うとともに、事故防止に関する指導を行う。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 45 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○ 京大病院における重大医療事故の経験と教訓 ○ 当院の医療安全管理の取り組みについて 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○ インシデント・アクシデント報告の内容分析 ○ リスクマネージャー会議でのワーキンググループ 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容:</p> <p>○職員に対する研修に関する基本方針 (1)感染対策の基本的考え方および具体的方策について、職員に周知徹底を図ることを目的に実施する。 (2)就業時の初期研修のほか、全職員および職種別対象を年数回開催する。 (3)研修の開催結果を記録。保存する。</p> <p>○感染症の発生状況の報告に関する基本指針 ○院内感染発生時の対応に関する基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容:</p> <p>○院内感染防止に関する検討・実施・各種マニュアルの策定および研修等を行う。 ○エピネット等による針刺し事故等の報告分析と再発防止に努める。 ○定期的(週1回)な院内感染状況報告と対策の協議ならびに抗菌薬使用状況等の分析を行う。 ○医療現場においての感染防止対策に関する取組みの評価を行う。</p>	
③ 従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容:</p> <p>○病院全職員を対象とした院内感染及び感染症等に関する研修の実施 (1)本院のける、過去5年間の血液培養分離菌の動向について (2)結核の感染対策について (3)院内感染の原因となる薬剤耐性菌の基礎知識と対処法について</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 院内における発生状況の報告等の整備 (① 有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>(1)定期的な医療現場の感染対策に関する環境整備の確認及び指導 (2)感染に関するニュースレター及び各種研修資料のwebによる提供 (3)細菌検査担当者、薬剤部担当者とともに院内感染に関する情報を共有し改善に努める</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容: ○抗癌剤の副作用と対策 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (① 有 ・ 無) ・ 業務の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○医薬品の採用・購入 ○医薬品の管理(麻薬等の管理方法等) ○患者の持参薬歴情報の収集方法、処方箋の記載方法 ○患者に対する与薬や服薬指導 ○医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い ○他施設(病院等、薬局等)との連携 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (① 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○製薬会社MRからの情報収集 ○医薬品安全管理ニュースの作成、配布による情報提供 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○人工呼吸器の安全管理 ○輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な操作法 ○酸素療法 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (① 有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○人工呼吸器、血液浄化装置、体温維持装置、人工心肺、輸液ポンプ、シリンジポンプ、除細動器、診療用放射線照射装置等 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (① 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○MEニュースの作成、配布による情報提供 ○リスクマネージャー会議での周知 	